



防災シンポジウム

～長良川9.12豪雨災害(安八豪雨)から40年～

2016年9月12日(月)

13:30～16:30(開場13:00)

安八町中央公民館(安八郡安八町南今ヶ淵400)

入場無料
先着400名

事前申し込みが必要です。
裏面をご覧ください。

9.12 豪雨災害の教訓

うねるような濁流が人命を、家を、田畑を飲み込んだ1976(昭和51)年の「9.12豪雨災害」から今年で40年がたちます。高度経済成長を遂げ、人間は万能だと錯覚してしまうような時代の空気を切り裂くように、自然は猛威を振るいました。

長良川が安八郡安八町大森の右岸で破堤したのをはじめ、岐阜市や大垣市、旧山県郡や本巣郡など県内各地に浸水被害が広がりました。県内全体では死者8人、7万5485棟の家屋が半壊や床上・床下浸水に遭いました。

県史に類を見ないこの水害は、私たちに何を語りかけているのでしょうか。私たちはそこから何を学ぶことができるのでしょうか。昨年は、関東・東北豪雨で茨城県常総市の鬼怒川の堤防が決壊するなど、異常降雨が頻発する昨今、つらい記憶を忘れることなく、災害への備えを確かめてみましょう。



プログラム

プロローグ

9.12水害を振り返る

- スライド・映像上映
- 被災体験談の発表

基調講演①

「天気予報の活用術
～大雨から身を守るために～」

- 気象キャスター 菊池真以



基調講演②

「水災害への備えのあり方
～河川整備や広域連携とその限界～」

- 名古屋大学名誉教授 辻本哲郎



パネルディスカッション

「災害に強い地域づくりに向けて」

■ パネリスト

菊池真以(気象キャスター)
辻本哲郎(名古屋大学名誉教授)
堀正(安八町長)
大澤健治(木曽川上流河川事務所長)

■ コーディネーター

野村克之(岐阜新聞社西濃支社長)

同時開催 リレーパネル展

※詳細は裏面

講師略歴



気象キャスター 菊池真以

茨城県出身。慶應義塾大学法学部政治学科卒業。大学在学中に民間の気象会社でお天気キャスターを務め、その後、東海テレビやNHK大阪放送局などの気象キャスターに。

2015年4月からNHK「ニュース7」土・日・祝日の気象キャスターを務めている。



名古屋大学名誉教授 辻本哲郎

京都大学大学院工学研究科博士課程取得。京都大学、金沢大学を経て名古屋大学へ。2015年名古屋大名誉教授。

現在、応用生態工学会会長、土木学会水工学委員会顧問、河川情報センター河川情報研究所所長を務めるほか、国の審議会や委員会・研究会などの要職多数。

専門は河川工学・土砂水理学。

防災シンポジウム申込方法

参加希望の方は、郵便番号、住所(参加証送付先)、氏名、年齢、職業、電話番号、会場直行バス(下記)ご利用希望の方は下記①か②をご記入の上、ハガキ、FAX、またはメールを利用して、お申し込みください。

※定員(400名)になり次第、締切らせていただきます。※参加者には、折り返し「参加証」をお送りいたします。当日受付にて「参加証」をご提示のうえご入場いただけます。※応募者の個人情報は「参加証」の発送など、当シンポジウムの運営のみに使用します。

●締め切り **9月7日(水) 必着**

●お申し込み先

岐阜新聞広告局「防災シンポジウム」係

ハガキ 〒500-8577 (住所不要)

FAX 058-263-7659 (24時間受付)

MAIL bousai@gifu-np.co.jp

●お問い合わせ

TEL 058-264-1158 (日祝除く9:00~17:00)



岐阜県安八郡墨俣町※現大垣市墨俣町(昭和51年9月)

同時開催 リレーパネル展

9.12豪雨災害を写真や新聞記事、体験談などで振り返り、その後の40年の河川事業の歩みや今後の展望などを紹介するパネル展を長良川沿江市町で開催します。

※詳細は木曽川上流河川事務所ホームページでご確認ください。

●会場直行バス(要事前申込)

	往	復
①岐阜羽島駅～安八町中央公民館	13:00発	16:50着(会場16:40発)
②JR大垣駅～安八町中央公民館	12:50発	17:00着(会場16:40発)

会場MAP



応募に関する問い合わせ/応募・郵送先 岐阜新聞広告局 〒500-8577 岐阜市今小町10 TEL058-264-1158 FAX058-263-7659

内容に関するお問い合わせ

国土交通省木曽川上流河川事務所調査課 〒500-8801 岐阜市忠節町5-1
TEL058-251-1125 FAX058-251-1150